

自社のDXレベルを自己診断し、目標とのギャップを埋めるためのDX推進計画を策定。また、基幹業務の課題に対して、クラウドサービスの導入に向けた検討に着手。

株式会社ファデコ				https://www.fadeco.co.jp/	
本社所在地	安来市伯太町安田中340番地8	資本金	4,950万円	事業概要	精密切削部品加工（旋盤、転造、研削、歯車加工）
代表者名	藤原敏孝	従業員数	76名		
設立年	1952年	業種	製造業		

背景

- 製造現場において、作業記録は手書きが中心であるため、データの転記入力に時間が掛かり、タイムリーな活用が困難な状況であるうえ、注文・納期・在庫等の管理はExcelで行っているが、複雑化しており、限界が見え始めている。
- 手書き帳票のデジタル化と、Excelに代わる適切なシステム導入を行い、データ管理業務を大幅に効率化することを目指したいと考えていた。
- デジタル化・システム化によって、リアルタイムにデータを活用し、迅速な状況把握と改善を実現し、経費削減を目指すとともに、作業時間の短縮、作業者負担の軽減、製造品質の向上にも繋がりたいと考えている。

計画の骨子

クラウドサービスの導入検討

- ▶ 伴走支援を受けながら、現状のワークフローを表出化した。
- ▶ 現状のワークフローを基に、クラウドサービスベンダーと導入協議を実施していくこととした。

DX推進計画の策定

- ▶ IPAが公開している「DX推進指標による自己診断」を用いて、自社のDX推進レベルを把握した。
- ▶ 「DX推進指標による自己診断」の診断結果と目標とのギャップを基に、中期でのDX推進計画を策定した。